tiger™

取扱説明書

輸入代理店
テクノグリーン株式会社
〒530-0015 大阪市北区中崎西１丁目４番２２号 梅田東ビル
ＴＥＬ(06)6371-0104 ＦＡＸ(06)6371-6400

07.2010

JP 目次

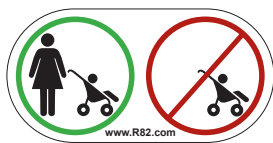
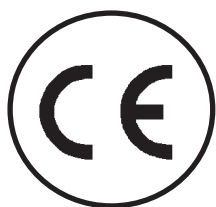
JP ＜はじめに＞

この度は、本製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本製品は、R82社(デンマーク) の長年にわたる経験によって開発された、生後半年から5歳までの障害児童向け介助用車いすです。 お子様・介助者の方々にとって最高のパートナーとしてご期待に添えるものと確信しております。

この取扱説明書は本製品の組立方法および正しい取扱いについて説明してあります。 ご使用前に、この取扱説明書を良くお読み頂き、安全かつ本製品の持つ特徴を良く理解して下さい。 また、お読みになった後は必ず大切に保管し、本製品を末永くご使用頂けますようにご活用下さい。
本製品には万全を期しておりますが、万一不良品・ご不審な点がありましたらお買い上げ頂いた代理店にお気軽にご相談下さい。 尚、品質・性能向上およびその他の事情により、お手元の製品と本書の内容が一部一致しない場合がありますので、予めご了承ください。

＜安全性＞

JP

本製品はCEﾏｰｸを取得しております。　これはヨーロッパにおける必要な安全事項を満たしている事を保証しております。
またISO７１７６/１９-２００１、EN１２１８２の認可を受けております。　本製品の耐用年数は、日常の基本的なご使用のもとにおいて5年です。　より長くご愛用頂くためにご購入頂きました販売店にて定期的な製品チェックを受けてください。

ご使用前に必ず本取扱説明書をお読みください。　誤ったご使用方法はお子様の安全に影響を及ぼすことがございます。

製品の改造又はR82社純正部品以外をご使用の際は貼付されておりますCEマークを外してください。

本製品は一人乗りです。　二人以上お乗りにならないでください。

ご使用中にはお子様から離れないでください。　また大人の方の監視下で管理してください。
誤ったご使用方法はお子様に危険なお怪我を引き起こす可能性があります。　全ての固定及び調節箇所は適正に行い、定期的に製品チェックを受けてください。

ハンドルに買い物袋等かけられますと安定性に影響を及ぼすことがありますのでご注意ください。

お子様がお乗りになる際は、ベルトでしっかり固定されてから各種調節を行ってください。

本製品を持って走らせたり、滑らせたりするようなご使用はお控えください。

最新の取扱説明書はwww.R82.comでご参照頂けます。

JP ＜保証規定＞

フレームは、国際規制に基づいて使用している材料又は製造工程上の欠陥に対し、お買い求め頂いた日から向こう５年間の品質保証がなされています。（但し、この取扱説明書に記載されている（お客様の責任において）定期的なメンテナンスを受けられていることを前提としております。）

お客様の過失なく、ご購入頂いた国でのご使用かつ製造番号の確認がとれた場合のみ保証が有効になります

またこの品質保証は、本製品の構成部品修理又は交換に限定された物で、その欠陥に付随して起こる又は結果として起こる損害を担保とするものではありません。　これは最初の原購入者に限定されます。　万一、この保証に基づいて構成部品に欠陥が発見された時は、弊社の選択によりその部品を修理するか交換するかを決定し、無償にてこれを行います。
この保証はR82社製の純正部品が使用されている場合のみ有効で、認定の受けていない業者による修理等で起きた損害や怪我は保証の対象外です。

弊社は保証同意前にその製品又は関連する書類を検査する権利を有しております。

JP ＜付属工具＞

本製品には、工具袋の中に４ｍｍレンチが付属されております。　本製品に記載されている調節にご使用ください。　リュックサックの中に空気入れも付属されています。（後輪エアー）

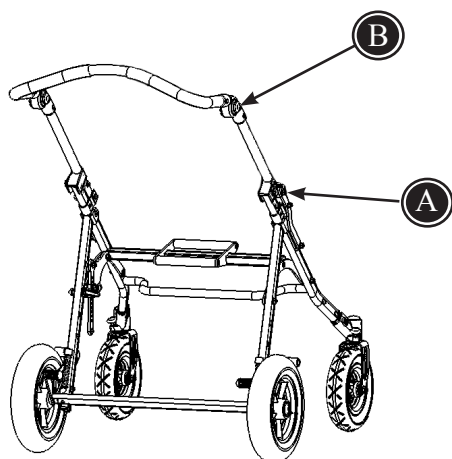
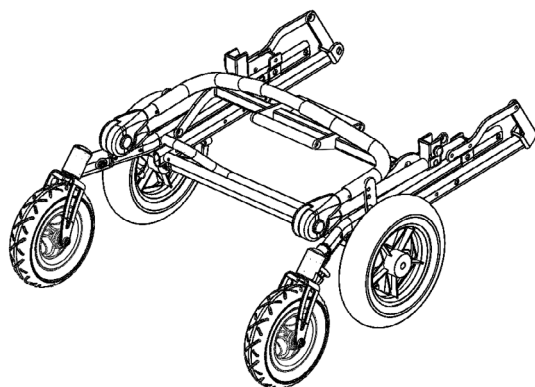
JP ＜メンテナンス＞

 開閉部分に時々潤滑油をつけてください。

 クリーニングの際、塩素又は変性アルコールを含んでいる洗剤を使用しないでください。

 車輪に付着したほこりや破片を取り除く際は乾いた布をご使用ください。

 安全にご使用頂くため、全てのﾎﾞﾙﾄ・ナットがしっかり締められているか6ヵ月毎に確認してください。（特に前輪に使用されている黒ネジ）

 その他全てのメンテナンスは主要部品の交換が主なものになります。　その際はお買い求め頂きました販売店にご依頼ください。

＜ご使用前に＞

本製品は折りたたんだ状態でお届けされますが簡単に組み立てることができます。

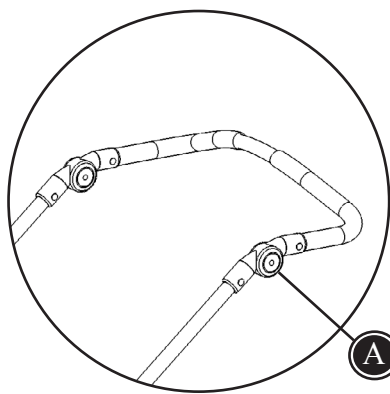
1) フレームはプッシュ･ブレスを持上げることで開きます。　ロック (A)がフレーム両側の受け金具に”カチッ”と音が鳴り、固定されるまで引上げてください。

2) プッシュ･ブレス両側のボタン (B)を押してご希望の位置の高さに調節してください。

次のページから背もたれ・シート・フットプレート各種調節方法が記載されています。

これでご使用の準備が完了となります。

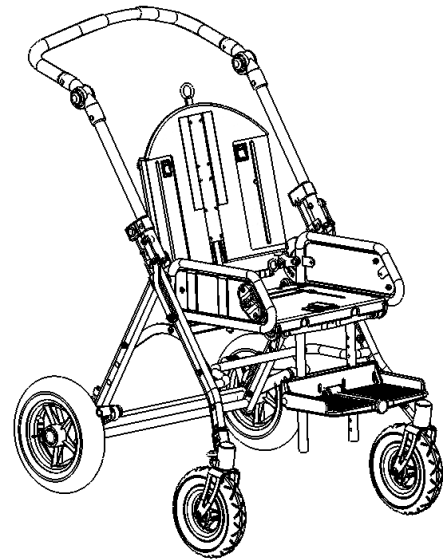
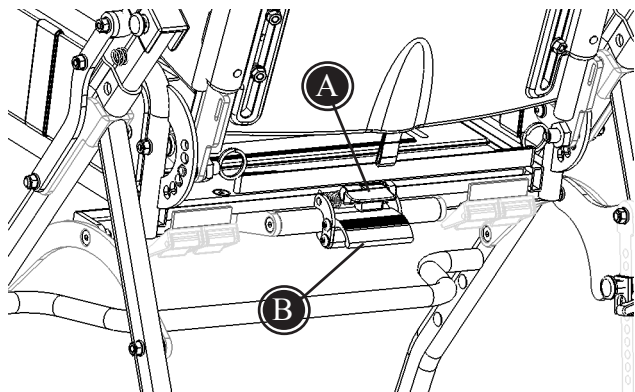
 本製品をご使用前にロック (A)が完全に固定されているか確認してください。

＜角度調節式プッシュ・ブレス＞

ハンドル両側のボタン (A)を押してプッシュ･ブレスの高さ調節を行ってください。

JP ＜前輪・後輪車輪＞

本製品は前輪自在式/後輪大車輪でお届けされます。（フレームはソリッド又はエアータイヤ）

サスペンション機能を搭載しておりますので走行性に優れ、悪路でも振動を吸収してくれます。

 空気圧：３６PSI/２，５bar

Turnable frontwheels

JP ＜対面式シート機構＞

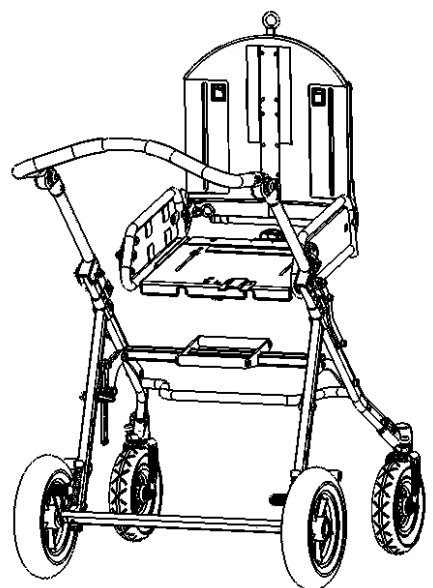
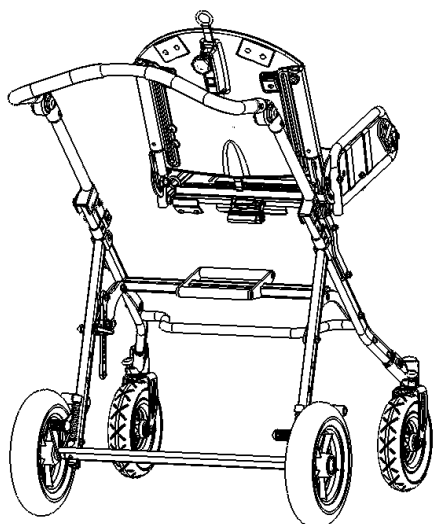
下記の手順にてシート部部品を対面式に付替え、走行することができます。

シートを付替える際はお子様をおろしてください。

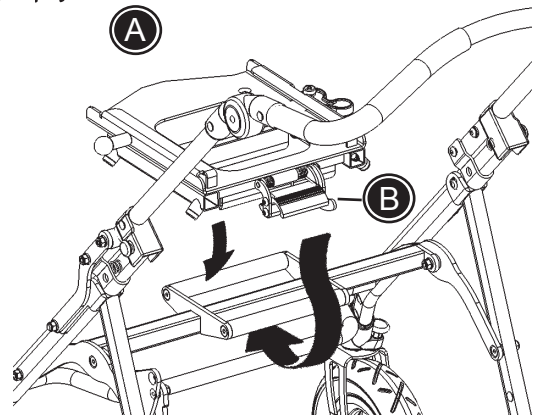
* 背もたれ裏のハンドル（A)を引上げ、次に安全ロック（B)を解除しシートをフレームから外してください。

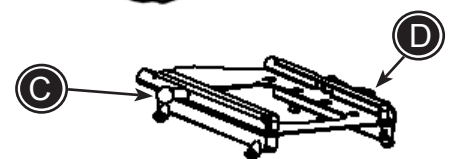
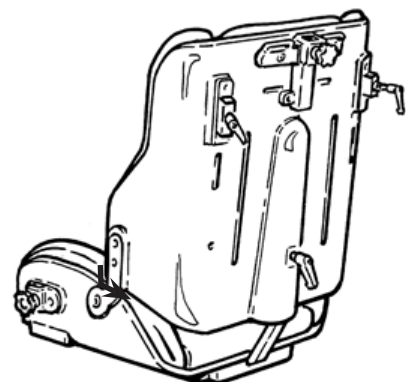
* シートを持上げ１８０度回転させてください。　再度シートをアダプターに取付けてください。

* 最後にハンドル（A)を所定の位置でロックしてください。

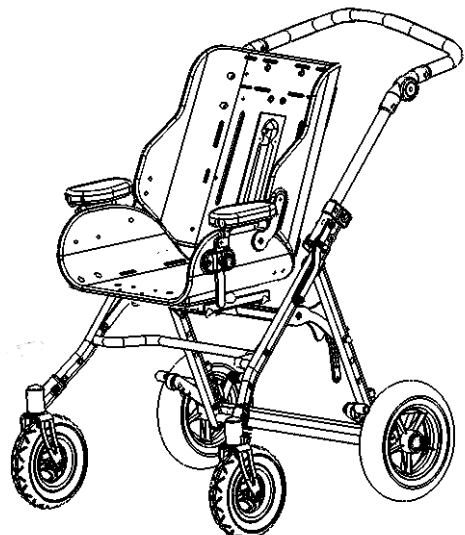
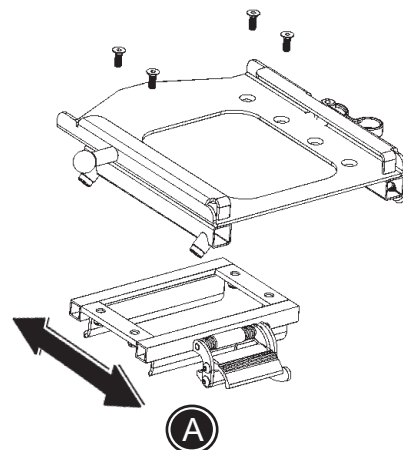
シートが適切な位置に取付いているか・しっかり固定されているかご確認ください。

JP ＜PANDA/Ｘ：PANDAシート取付＞

専用受け金具を取付けることにより、Panda Futura・ｘ：Pandaシートをフレームに搭載することが可能です。

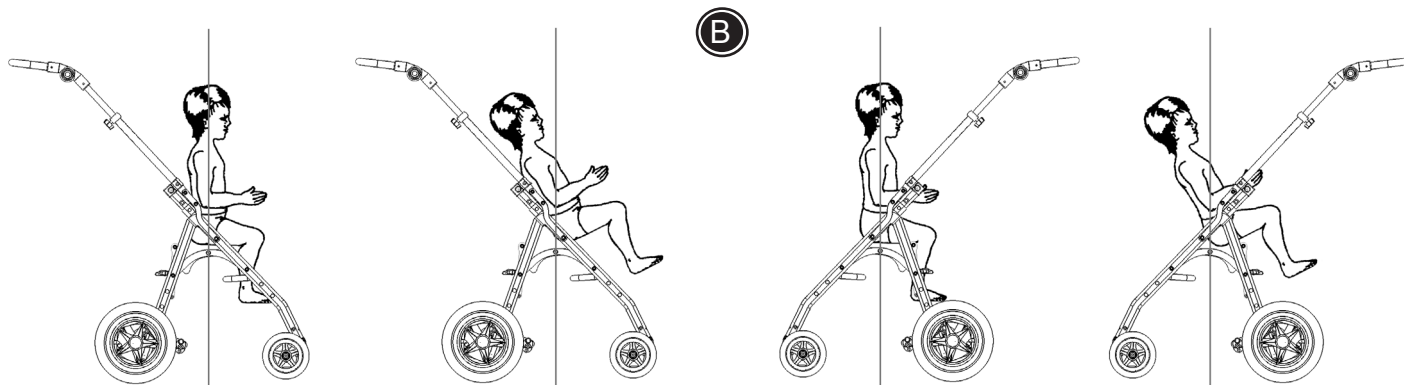
専用金具をフレーム（A)に合わせて取付け、安全ロック（B)で固定してください。　シートを取外す際は＜対面式シート機構＞欄をご参照ください。

専用受け金具への取付け
シートを専用受け金具に取付ける際は、緑のノブ（C)を引き二つ目の安全ロックが”カチッ”と鳴るまで後ろに押してください。　最後に逆側にある赤いハンドル（D)をフレーム後方側にセットし固定してください。

一つ目の穴で使用しないでください。これは誤ってハンドル（D)が解除された場合でもシートが外れないための安全孔です。

専用受け金具からの取外し
赤いハンドル（D)を解除してください。　その後ノブ（C)を引いた状態でシートを前方に押出してください。

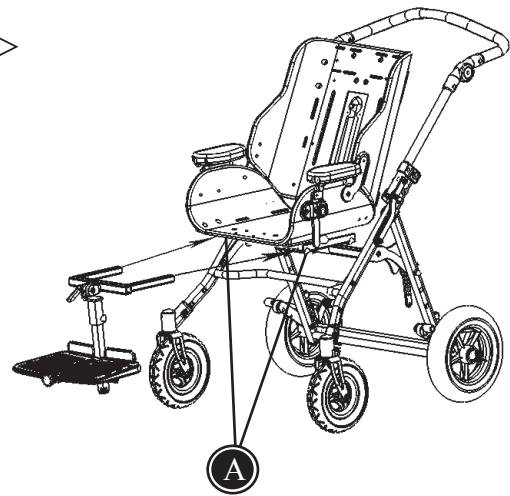
Panda Futurra/ｘ：Panda対面式機構
シートは１８０度回転させ対面式にセットすることが可能です。　詳しくは”対面式シート機構”をご参照ください。

（続き）　＜PANDA/X:PANDAシート取付＞

シート重心位置調節
専用受け金具（それに伴うシート）は正しい重心位置及びフレームの安定性を維持するために前後１０ｃｍ（A)調節することが可能です。
４ｍｍレンチ・１０ｍｍスパナで４箇所のネジを取外して受け金具の位置を調節してください。　ご希望の位置にセットされましたら再度ネジで４箇所締めてください。

フレームを安定させ、転倒の危険性を回避するためにシートを正しい重心位置に設定することは非常に重要です。

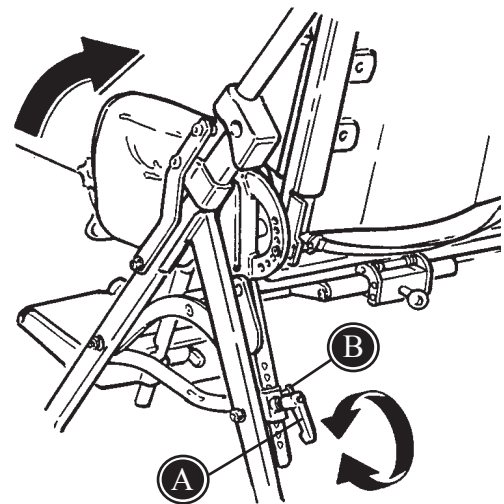
専用受け金具とシートがしっかり取付いているか確認してください。

サイズ１	サイズ２
Panda Futura サイズ１＋２	Panda Futura サイズ１＋２＋２1/2＋３
x:panda サイズ１SM＋２S	x:panda　サイズ１＋２M

JP ＜フット・サポート取付＞

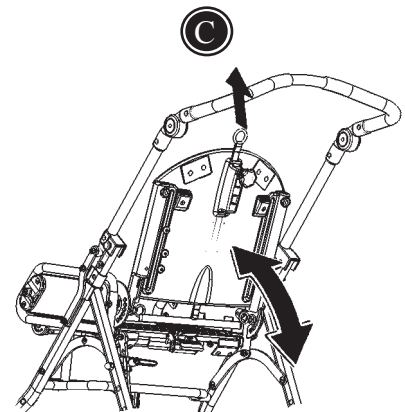
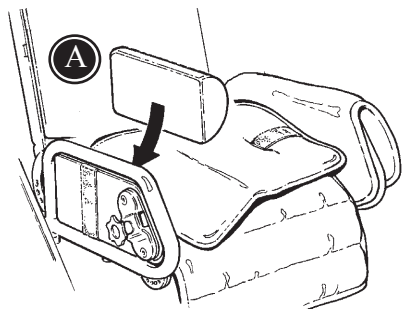
５ｍｍレンチでネジ（A)を緩め、フット・サポートバーを専用受け金具に差込んでください。その後ネジ（A)を締めなおしてください。

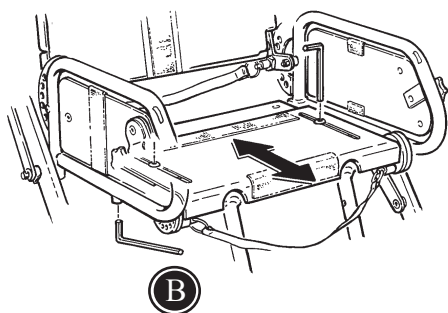
フット・サポート調節方法は、”フット・レスト”をご参照ください。

JP ＜座面（ティルト）＆背もたれリクライニング機構＞

ハンドル（A)を緩め、安全ピン（B)を引きながらシートの角度を調節してください。
ご希望の位置が決まりましたら再度締めてください。

 調節後、安全ピンが”カチッ”と音が鳴りしっかり固定されているかご確認ください。

背もたれ裏のストラップ（C)を引上げることにより背もたれリクライニングも可能です。

 ストラップを引上げる際、突然倒れないようしっかりシートを支えて行ってください。

 調節後、背もたれが動かないか確認してください。（ロックピンがフレーム両サイドにセットされているか確認してください)

JP ＜シート幅＞

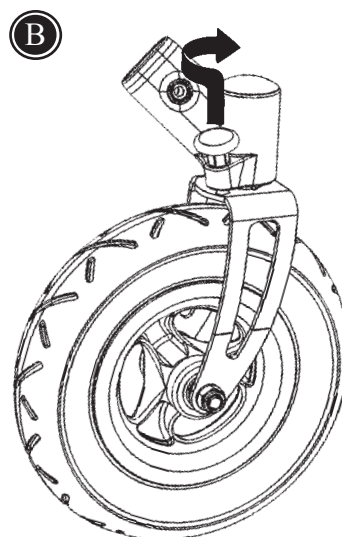
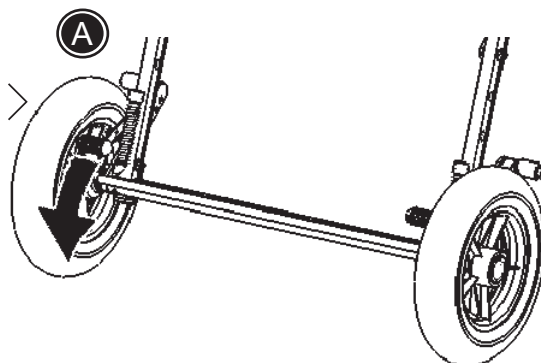
シートクッションの裏側に座幅調節用クッション（オプション）をセットすることで座面幅を調節することが可能です。

JP ＜シート奥行き調節＞

シート裏のネジ（B）を緩めるとシート奥行き調節が可能です。

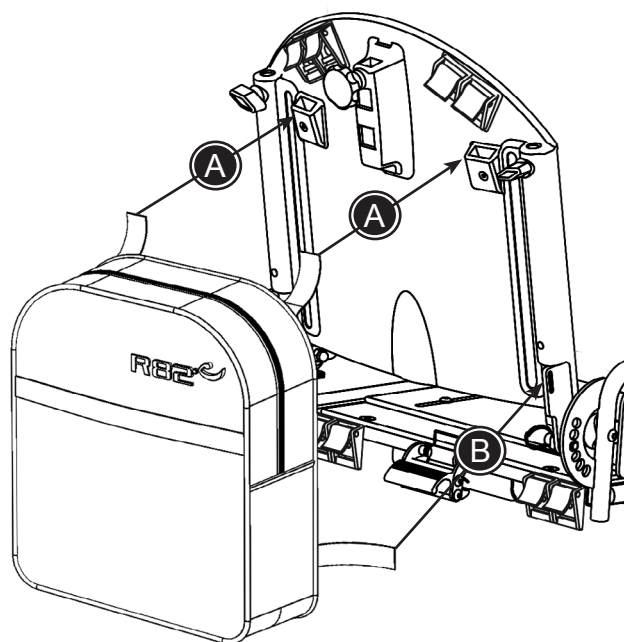
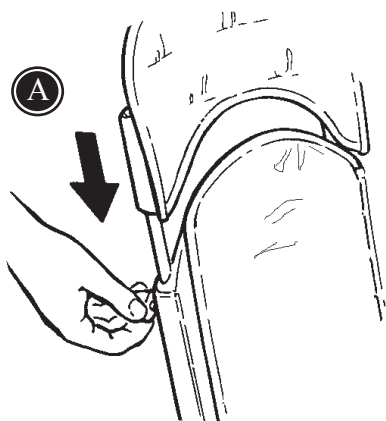
ご希望の位置に調節後、ネジ（B）を締めなおしてください。

JP ＜後輪フット･ブレーキ/前輪キャスター直進ロック＞

車輪をロックする際は、ブレーキ（A)を押下げてください。

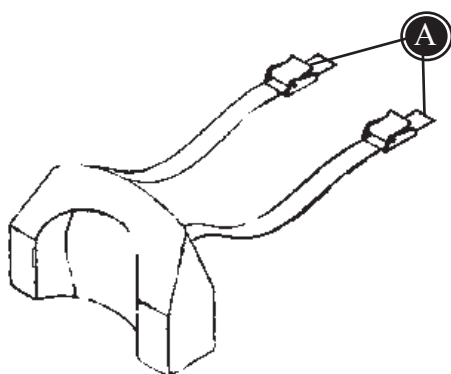
ロックピン（B)の開閉により、直進/自在両方の設定が可能です。

JP ＜リュックサック＞

ストラップ（A)をフィックスロックに取付けてください。　次にストラップ（マジック付）（B)をフレーム両側のスリットに通して固定してください。

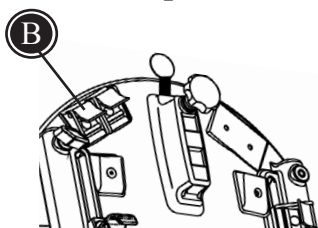
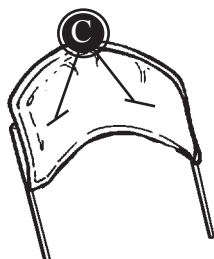
 リュックサックへの積みこみは最大２ｋｇです。

JP ＜背もたれ延長部＞

本製品には高さ調整可能な背もたれ延長部（A）が標準装備されております。

背もたれ延長部を差込みネジ（A）で締めてください。

背もたれ延長部がしっかり取付いているか確認してください。

＜ヘッドレスト・クッション＞

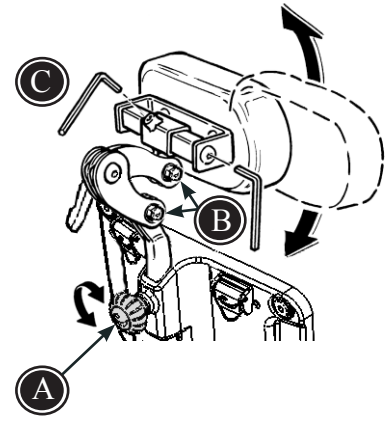
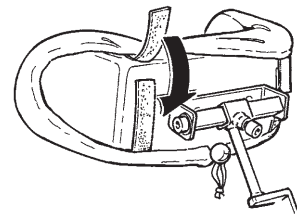
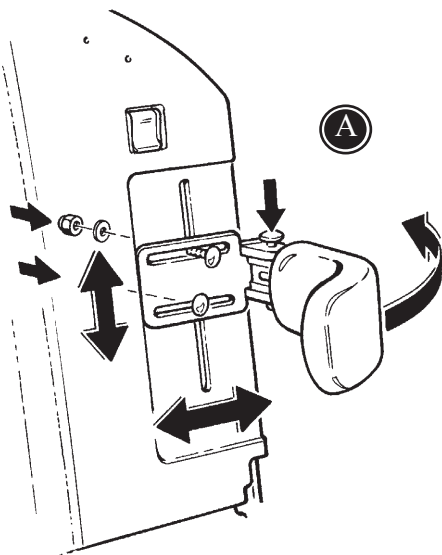
ヘッドレスト･クッション取付方法：

背もたれ延長部無しの場合：
ストラップ（A)を背もたれ上部のフィックスロック（B)に通して固定してください。

背もたれ延長部有りの場合：
ストラップ（A)を通し穴（C)に通し、背もたれ裏でバックル固定してください。

JP ＜ヘッド･レスト＞

取付/高さ調節：
固定ハンドル（A)を緩めてください。

角度調節：
レンチでネジ（B)を緩めてください。

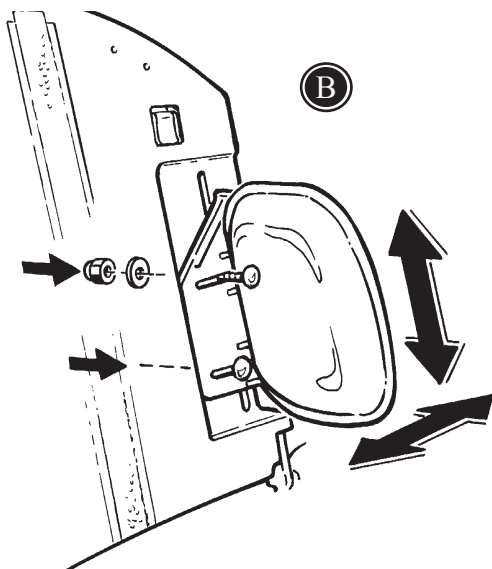
左右調節：
ネジ（C)を緩めてください。.

ご希望の位置に調節後、全てのネジを締めなおしてください。

カバーをヘッド･サポートに取付けてください。

＜サイド･サポート＞

背もたれクッションを取外し、背もたれの通し穴にサイド･サポートを取付けてください。

A) 開閉式サイド･サポートは高さ・幅調節が可能です。　お子様の移乗や姿勢変換される際はサイド･サポートを開いてください。

B) 固定式サイド･サポートは高さ・幅調節が可能です。

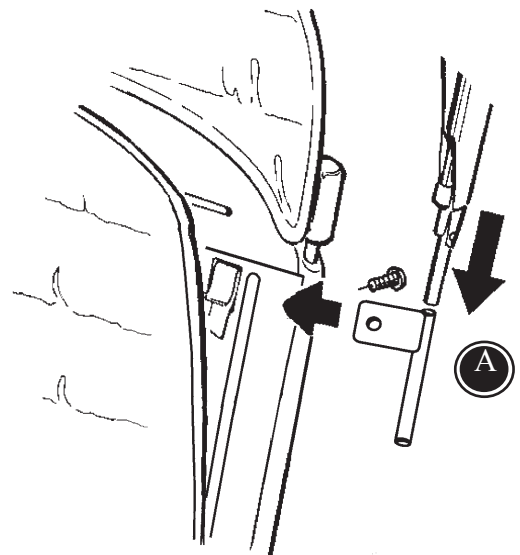
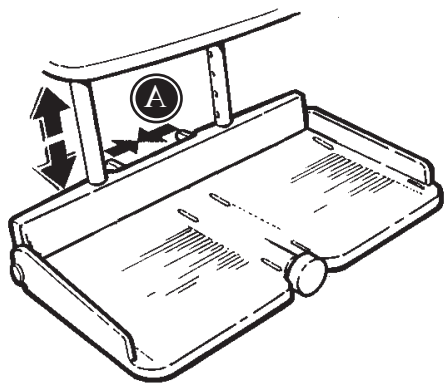
開閉部分に時々潤滑油をつけてください。

＜日除けカバー＞

背もたれ延長部を外してください。

背もたれの通し口に取付金具をセットしネジで
締めてください。（A）

日除けカバーを金具に差込んでください。

再度背もたれ延長部を取付けてください。

本体を持上げる際、絶対に日除けカバー
を持って引上げないでください。

JP ＜フットレスト＞

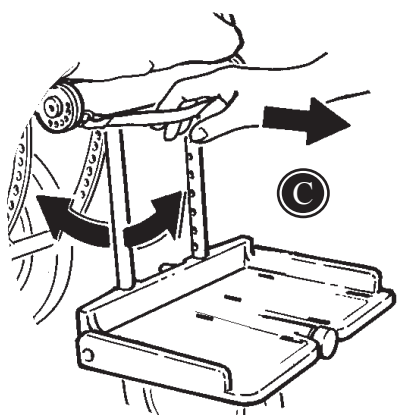
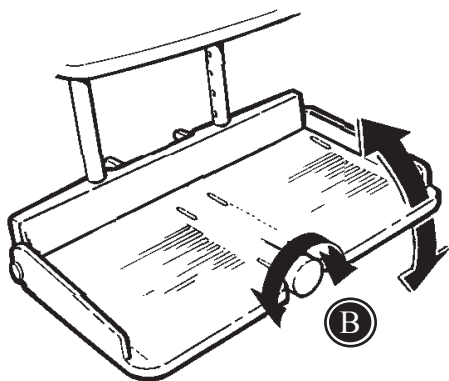
お子様がシートから滑り落ちないようにサポートしてください。

フットレストをペダルとして使用しないでください。

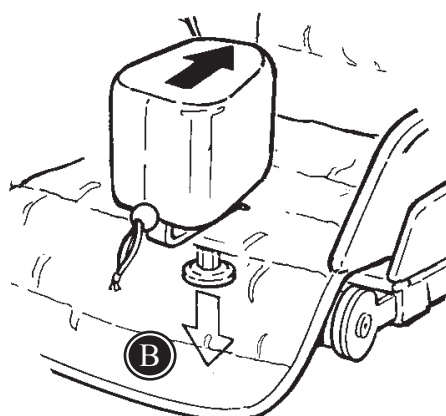
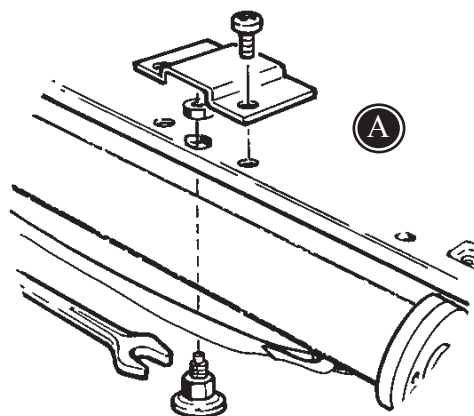
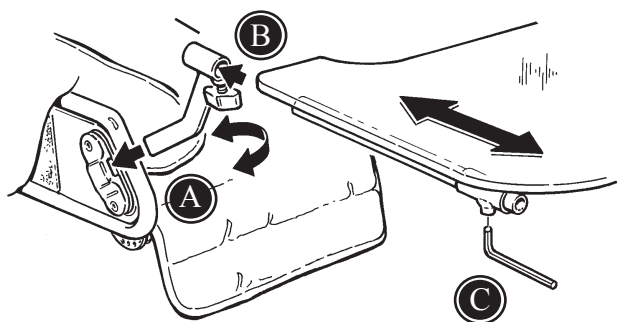
二つのハンドル（A)を同時につまんで高さ調節を行ってください。

ハンドル（B)を回してフットプレートの角度を調節してください。

シート下（C)の黒いストラップを引いてフットレスト全体の角度調節を行ってください。

定期的にフットレストに潤滑油をつけてください。

JP ＜内転パット＞

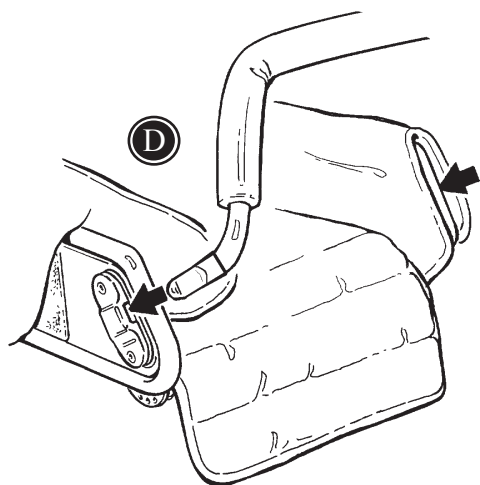
シートクッション下のシート部に取付金具をセットしてください。

取付金具をセットしましたら、ハンドル（B)を引きながら内転パットをシートクッションを通し、金具に差込んでください。

JP ＜テーブル＞

差込金具をフレーム両サイドに取付け、ネジ（A)で締めてください。

テーブルを（B)に差してください。

レンチでテーブル下のネジを緩め、テーブルの奥行き調節を行ってください。

 テーブル耐荷重は最大５ｋｇです。

JP ＜ハンド･ブレス＞

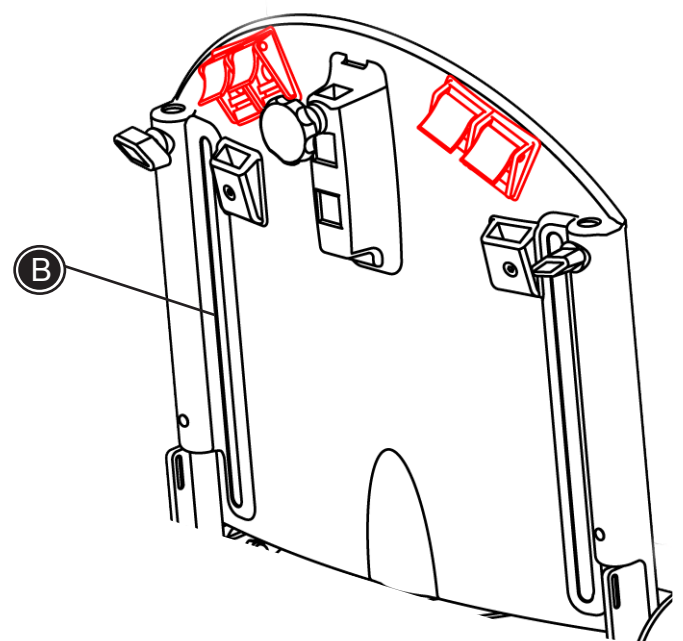
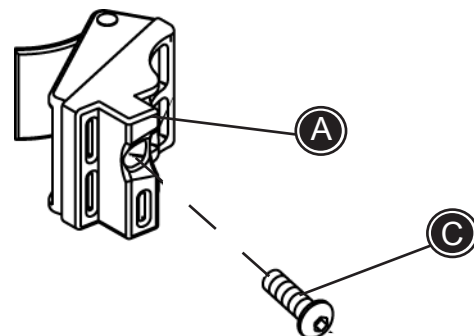
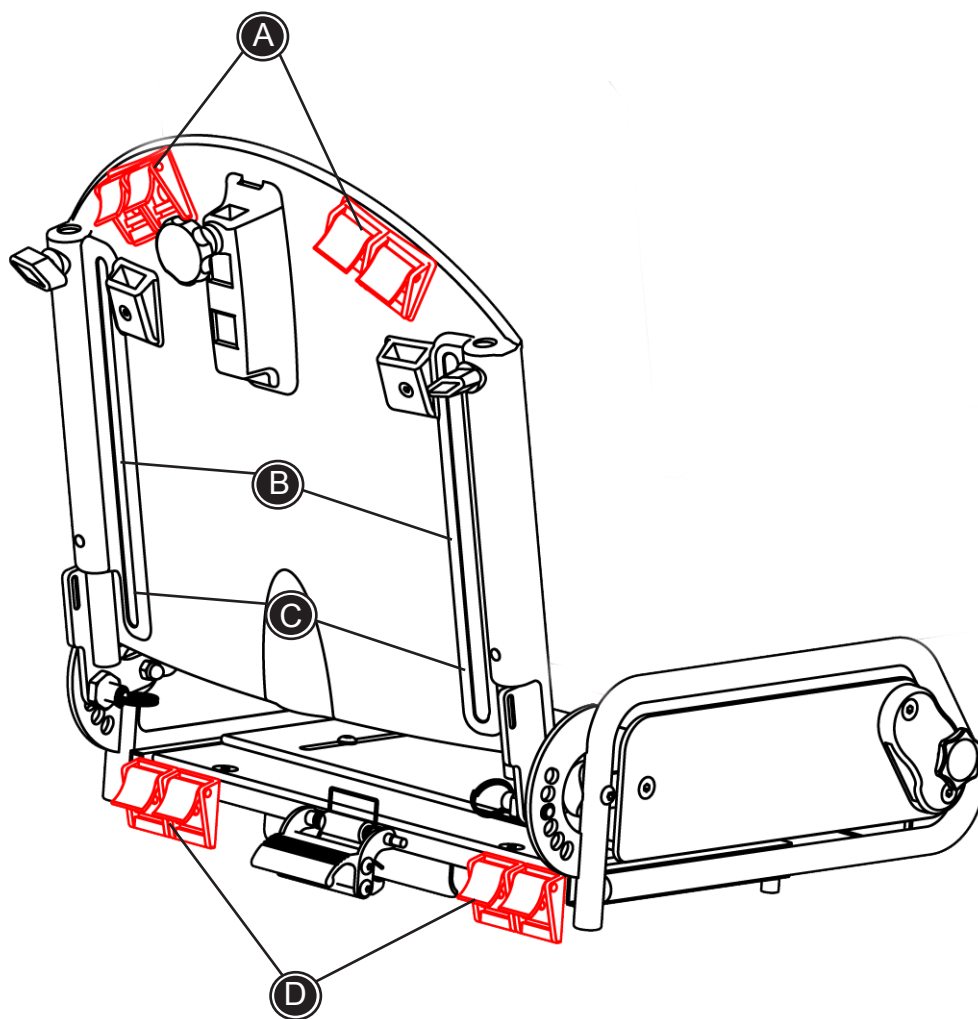
フレーム両サイドの受け部品にハンド・ブレスを差込み、ネジ（D)で締めてください。

JP ＜調節式フィックス・ロック取付＞

＊ 背もたれの通し穴にフィックスロック（A）を取付けてください。

フィックスロックは背もたれにフィットする形状になっております。

＊ ネジ（C)を使って背もたれの内側からフィックスロックを固定してください。

ネジ（C)を緩めてフィックスロックの上下調節を行ってください。

次項以降の製品取付方法はこの図をご参照の上お読みください。

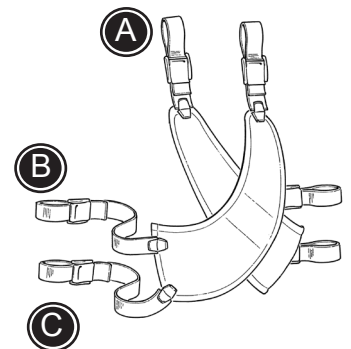
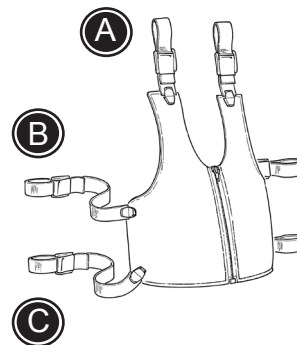
JP ＜ベスト/クロス式ベルト＞

背もたれにフィックスロックを取付けてください。　２１ページご参照

ベスト・クロス式ベルトはジッパー・バックルを使って開閉が可能です。

以下の手順に従ってベルトを取付けてください。　２１・２２ページご参照

* ショルダー（肩）ストラップを背もたれ上部（A)のフィックスロックに取付けてください。
* ストラップ（体幹上部）を背もたれ（B)位置のフィックスロックに取付けてください。
* ストラップ（体幹下部）を背もたれ（C)位置のフィックスロックに取付けてください。

 全ての固定や調節が正しく行われているか定期的に確認してください。

HUSK RETTE ALLE
SIDETALLENE PÅ ALLE SPROG!!!!!

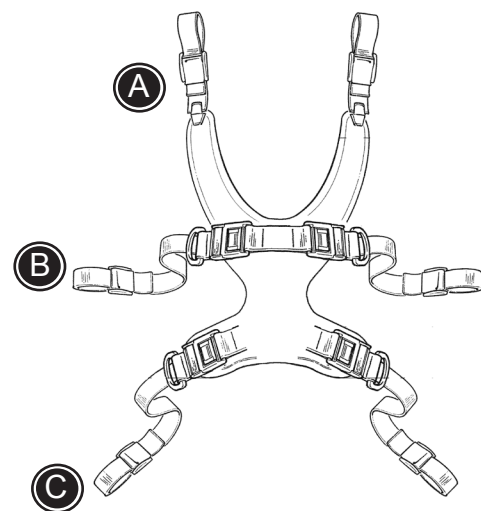
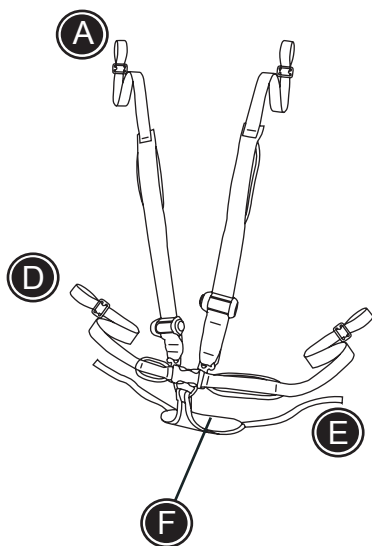
JP ＜胸ベルト＞

背もたれにフィックスロックを取付けてください。　２１ページご参照

胸ベルトはバックルを使って開閉が可能です。

以下の手順に従ってベルトを取付けてください。　２１・２２ページご参照

* ショルダー（肩）ストラップを背もたれ（A)のフィックスロックに取付けてください。
* ストラップ（体幹上部）を背もたれ（B)位置のフィックスロックに取付けてください。
* ストラップ（体幹下部）を背もたれ（C)位置のフィックスロックに取付けてください。

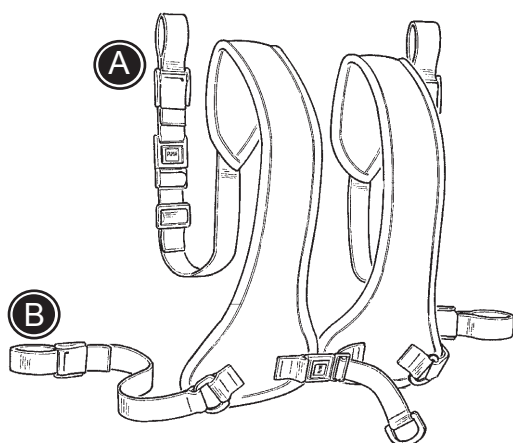
 全ての固定や調節が正しく行われているか定期的に確認してください。

JP ＜５点式ベルト＞

背もたれにフィックスロックを取付けてください。　２１ページご参照

5点式ベルトは、バックルを使って開閉が可能です。

以下の手順に従ってベルトを取付けてください。　２１・２２ページご参照

* ストラップ（E)を背もたれ（D)のフィックスロックに取付けてください。
* お子様を股パット（F)の上になるように乗せてください。
* シート両サイドの通し孔にストラップ（D)を通し、シート下でバックル留めしてください。
* ショルダー（肩）ストラップを背もたれ上部（A)のフィックスロックに取付けてください。

 全ての固定や調節が正しく行われているか定期的に確認してください。

JP ＜新型H式ベルト＞

背もたれにフィックスロックを取付けてください。　２１ページご参照

新型H式ベルトはバックルを使って開閉が可能です。

以下の手順に従ってベルトを取付けてください。　２１・２２ページご参照

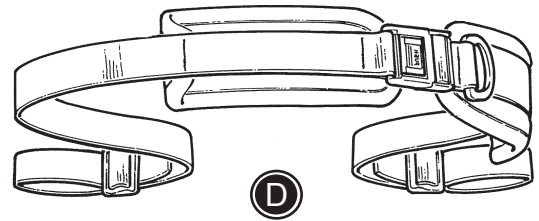
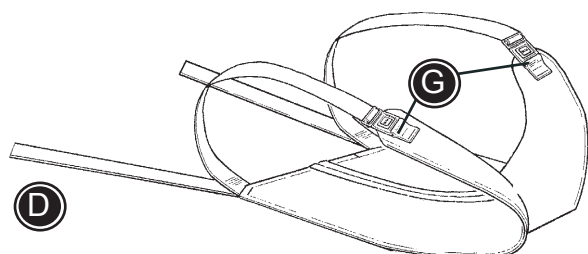
* ショルダー（肩）ストラップを背もたれ上部（A)のフィックスロックに取付けてください。
* ストラップ（体幹部）を背もたれ（B)位置のフィックスロックに取付けてください。

 全ての固定や調節が正しく行われているか定期的に確認してください。

JP ＜骨盤ベルト＞

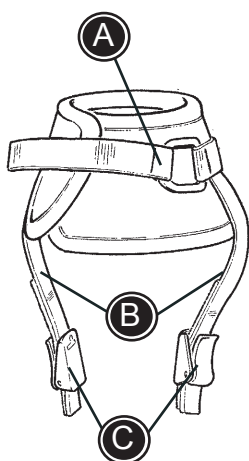
骨盤ベルトはバックルを使って開閉が可能です。

以下の手順に従ってベルトを取付けてください。　２１・２２ページご参照

＊ ストラップをシート（D)のフィックスロックに取付けてください。

全ての固定や調節が正しく行われているか定期的に確認してください。

JP ＜股ベルト＞

バックルを外してください。

＊ バックルを外してください。（G）
＊ ストラップ（D）をシート下（D）のフィックスロックに取付けてください。
＊ 股ベルトの上にお子様を乗せ、大腿部を包むように引上げバックルでとめてください。

全ての固定や調節が正しく行われているか定期的に確認してください。

＜アンクル･ベルト＞

アンクル・ベルトはマジック又はバックル（A）を使って開閉が可能です。

以下の手順に従ってベルトを取付けてください。

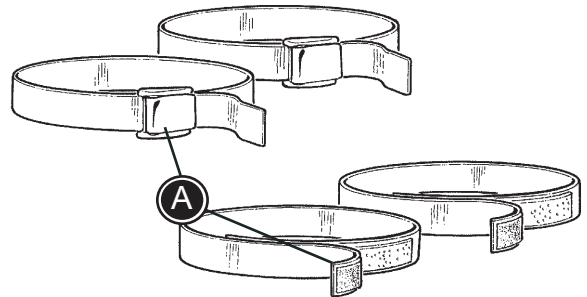
＊ バックル（C）を外してください。
＊ フットプレートの通し孔にストラップ（B）を通し引下げてください。
＊ 再度バックル（C）で固定し、ストラップが動かないか確認してください。

全ての固定や調節が正しく行われているか定期的に確認してください。

JP ＜フット・ストラップ＞

アンクル・ベルトはマジック又はバックル（A）を使って開閉が可能です。

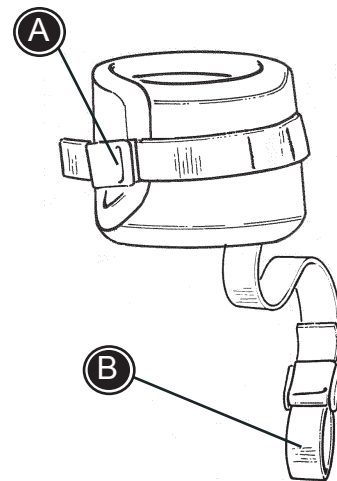
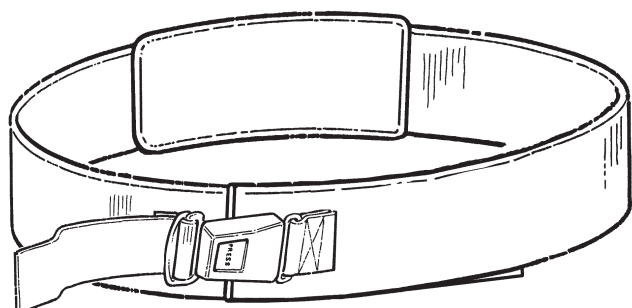
以下の手順に従ってベルトを取付けてください。

＊ フットプレートの通し孔にストラップ（B）を通し引下げてください。
＊ お子様の足の周りにストラップを巻いてください。

 全ての固定や調節が正しく行われているか定期的に確認してください。

JP ＜リスト・ベルト＞

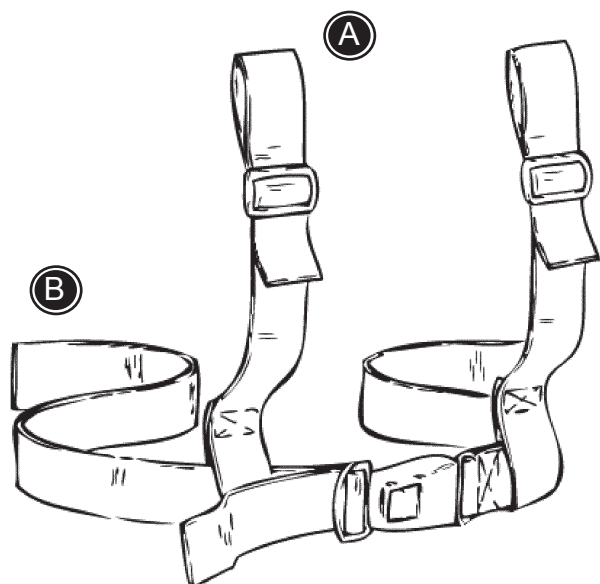
リスト・ベルトはバックル（A）を使って開閉が可能です。

以下の手順に従ってベルトを取付けてください。

＊ お子様の手首にベルトを巻いてください。
＊ ストラップ（B）をアームレスト棒に取付けてください。

 全ての固定や調節が正しく行われているか定期的に確認してください。

JP ＜車内用シート・ベルト＞

お子様の胸・椅子の背もたれに巻いてください。　マジックと金属ロックで固定してください。

 全ての固定や調節が正しく行われているか定期的に確認してください。

JP ＜H式ベルト＞

背もたれにフィックスロックを取付けてください。　２１ページご参照

H式ベルトはバックルを使って開閉が可能です。

以下の手順に従ってベルトを取付けてください。　２１・２２ページご参照

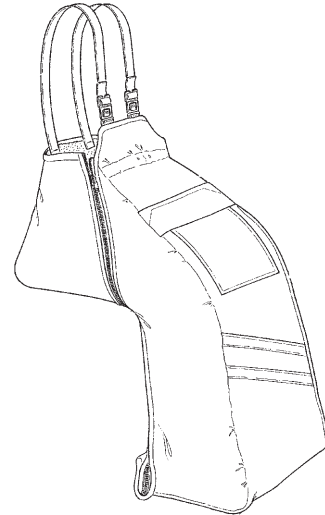
* ショルダー（肩）ストラップを背もたれ上部（A)のフィックスロックに取付けてください。
* ストラップ（体幹部）を背もたれ（B)位置のフィックスロックに取付けてください。

 全ての固定や調節が正しく行われているか定期的に確認してください。

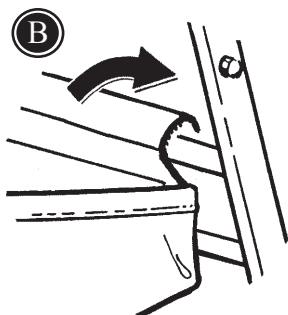
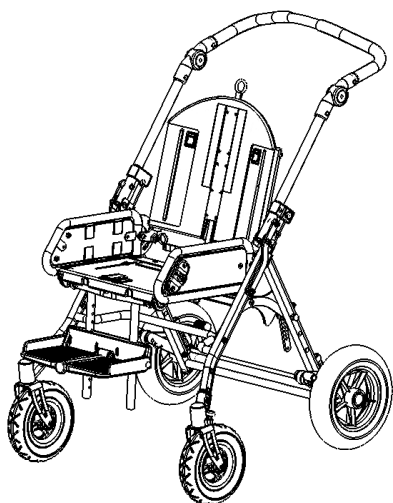
JP ＜防寒バッグ＞

＊ 椅子に防寒バッグを置いてください。
＊ 両サイドのジッパーを外してお子様を乗せてください。
＊ 再度ジッパーを閉めてください。

骨盤ベルトを併用できるようバッグの両サイドにはマジック式の通し穴がありますので取付の際ご利用ください。

 全ての固定や調節が正しく行われているか定期的に確認してください。

JP ＜フード付レインキャップ＞

レインキャップはお子様はもちろん、シート・フットレストも全て雨からお守りします。

 全ての固定や調節が正しく行われているか定期的に確認してください。

＜ショッピング・バスケット＞

A) ショッピング・バスケットをシート下のフレームにセットしてください。

B) フレームのクロスバーにマジックでショッピング・バスケットを取付けてください。

＜ショッピング・ネット＞

プッシュ･ブレスフレームにショッピング・ネットをセットし取付部品で締めてください。

プッシュブレスに荷物等かけられますと安定性に影響を及ぼすことがありますのでご注意ください。

JP ＜折りたたみ＞

本製品は簡単に折りたたみ/組み立てが行えますので持ち運びに便利です。

２種類の折りたたみ方があります。

1) フレームにシートを取付けたままでの折りたたみ方
2) 折りたたみ前にシートを外した状態

<u>フレームにシートを取付けたままでの折りたたみ方</u>

A) （膝の曲がる角度調節用の）黒いストラップを引きながら、フットレストを座面と水平な状態まで引上げてください。

B) フットプレートをたたんでください。

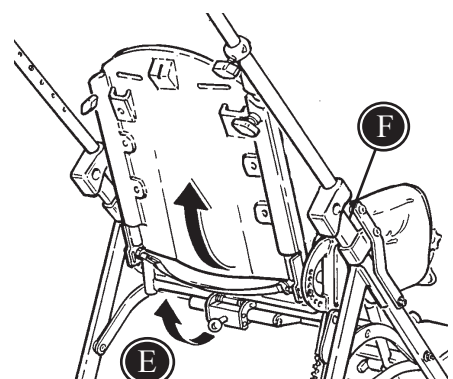
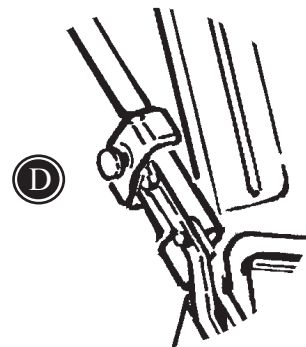
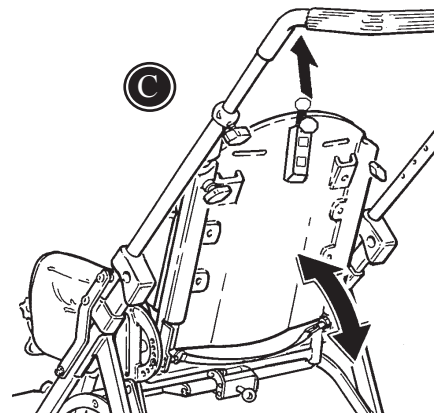
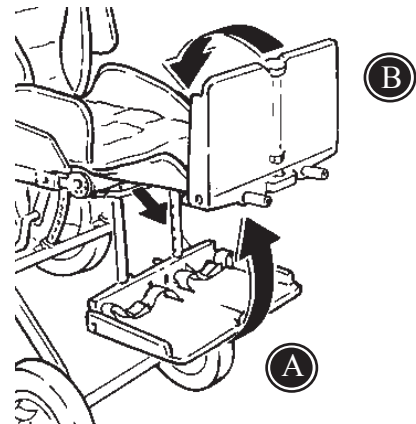
C) 背もたれ上部の赤いストラップを引上げながら、背もたれを前方にたたみ、（ティルト角度調節用の）ロックピン・ハンドルを解除してシート全体を前方にたたんでください。
尚、シートが勢いよく前方に倒れないようにシートを支えながら行ってください。

D) 左右の赤いボタン (D)を押してハンドルを前方にたたんでください。

<u>フレームからシートを取外してからの折りたたみかた</u>

背もたれ裏のロック (E)を解除してシートを外してください。　フレームの折りたたみはステップ (D)をご参照ください。

 折りたたみの際は、フレームの間に指を挟まない様に十分注意してください。

 完全に折りたたむために、日除けカバー/テーブル/ショッピング･バスケット/ハンド･ブレス等アクセサリーは全て取外してください。

＜お車での移動＞

お子様が本製品に乗った状態のままお車で移動することが認可されております。　その際は前方に向いた状態でセットしてください。
下記の点をお読み頂き、安全にご使用ください。

お届けの際、お子様を安全に固定する骨盤ベルトは装備されておりません。

 特注の椅子の場合は適用されませんのでお控えください。

 できる限りお車のシートをご利用頂くことをお薦めいたします。　その際はシートベルトでしっかり固定してください。

 本製品はISO ７１７６/１９－２００１・１６８４０－４：２００９の認可を受けております。

 本製品はANS/RESNA　WC/Vol1-1998, セクション６　４　１の力学的試験を受けております。

 ３点式ベルトをご使用ください。　その際、ベルトの機能を妨げないために、アームレストや車輪等のアクセサリーに緩衝しないようにしてください。

 全てのアクセサリーを車椅子から外して別々に車に乗せてください。　取外せないアクセサリーがある場合は、衝撃を吸収できるパット等をご利用者とアクセサリーの間に置き、安全に注意してください。

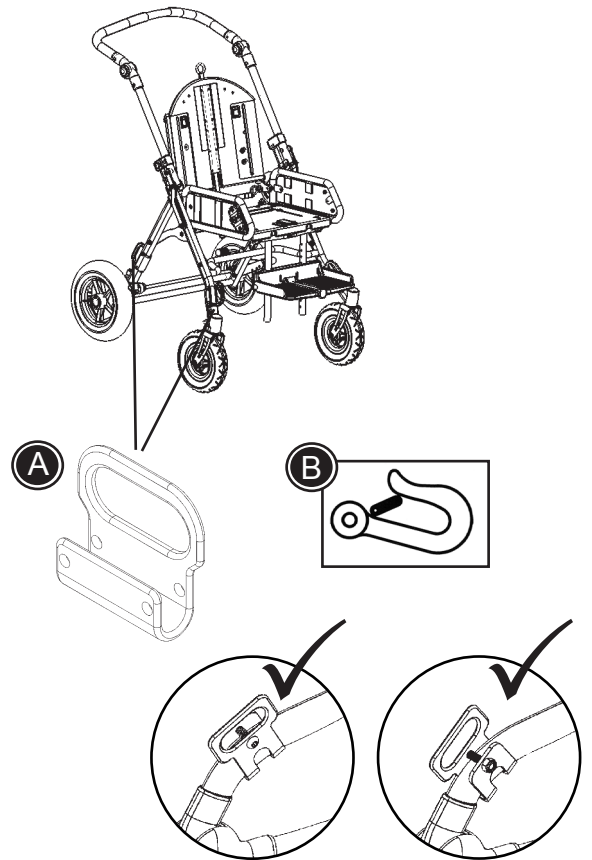
 販売店の同意なく修理、改造しないようにしてください。

 自動車の衝撃を受けた後、再び車椅子を使用する場合は、販売店から製品チェックを受けてください。

JP ＜お車での移動（準備）＞

車載金具取付方法：

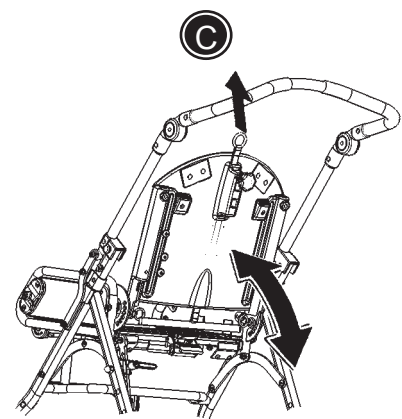
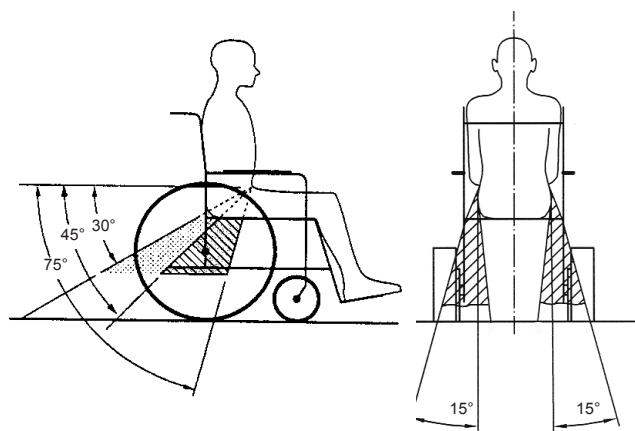
車載金具をフレーム片側２箇所づつ（計４箇所）に取付けてください。　金具（A)には表記シール（B)が貼付されております。

＊ フレームに付いている黒いキャップを外してください。　そこに４ｍｍレンチを使用し、ナット・ボルトで車載金具を固定してください。

背もたれリクライニング：

＊ 背シート後ろにあるストラップを軽く引上げて背もたれの角度調節を行ってください。

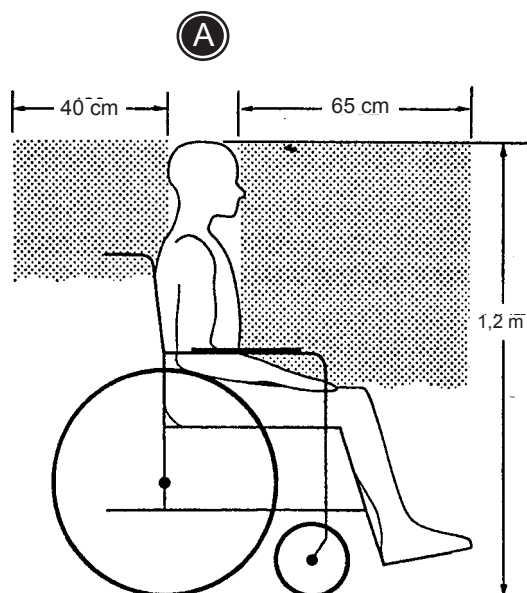
 ストラップを引上げる際、突然倒れないようしっかりシートを支えて行ってください。

 必要でなければ３０度以上背シートを倒さないでください。

 お子様が本製品に乗った状態のまま、お車で移動することが認可されております。　耐荷重につきましては、本説明書に記載されております寸法表をご参照ください。

JP ＜お車での移動＞

＊　４点式ストラップタイプ固定システムを取付けてください。（手順書参照）

＊　４点式ストラップタイプ固定システムを使用してお車に本製品を安全に乗せてください。　取付金具にはフック又はストラップを使用してください。

ISO　１０５４２－２・SAE　Ｊ２２４９認証の４点ストラップ固定システムをご使用ください。

車内でのポジション

＊　移動する前には車椅子から全てのアクセサリーを外してください。

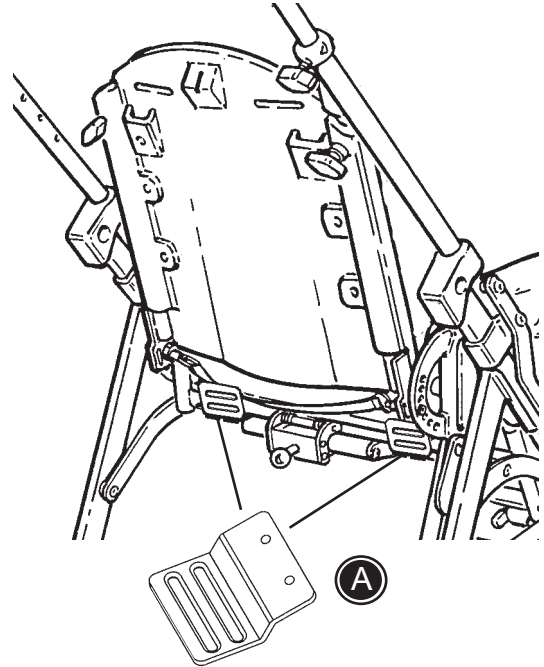
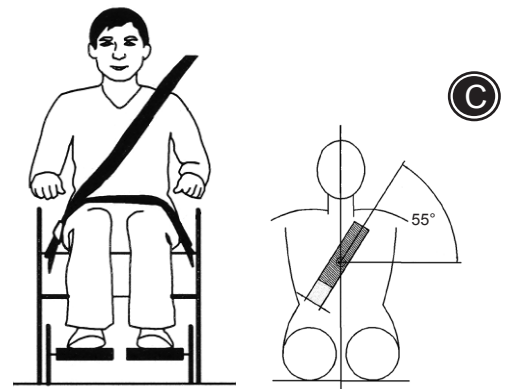
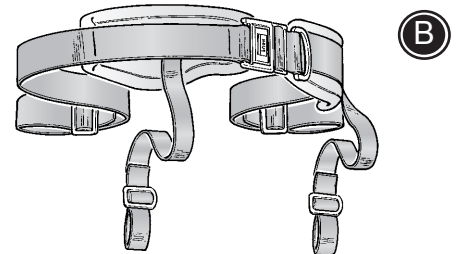
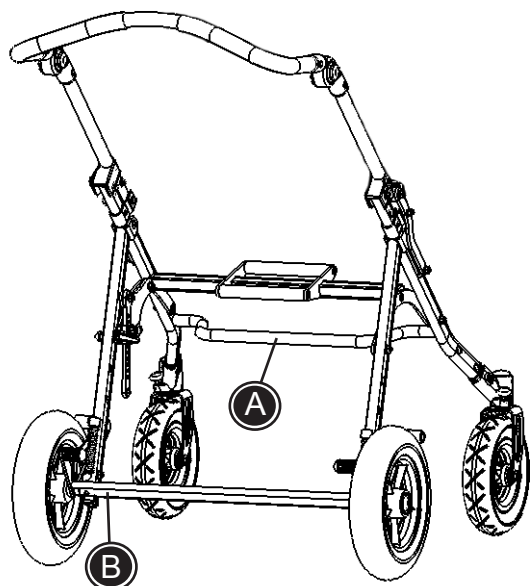
＊　お子様を前向きに座らせてください。

車内で移動される場合は、推奨された安全ゾーン（A）を確保してください。

JP ＜お車での移動＞

＊ フレーム後部の取付穴に骨盤ベルト（B)用の車載金具をセットしてください。

＊ 車載金具（A)に骨盤ベルト（B)を取付け、お子様をしっかりサポートしてください。

＊ 安全にご使用頂くため、図のように３点式ベルトをお子様が不快にならない程度でできる限りしっかり締めてください。　またご使用中にベルトがねじれないようご注意ください。　３点式ベルトの角度は図（C)の様に調節してください。

ISO　１０５４２－２又はSAE　Ｊ２２４９で認可された骨盤ベルト・３点式ベルトをご使用ください。

JP ＜製品識別＞

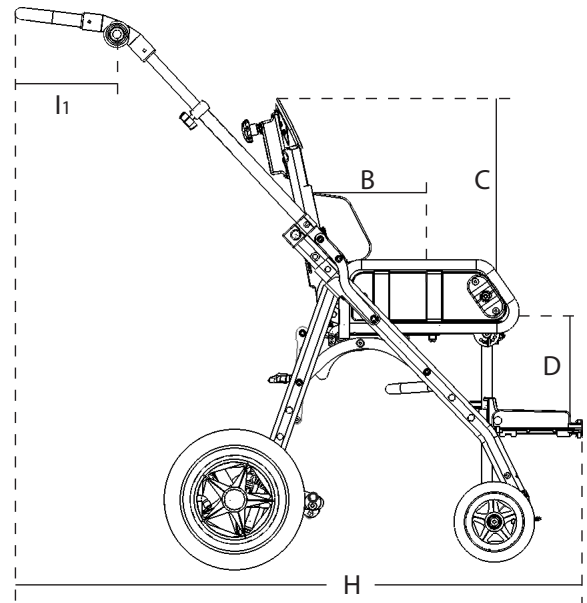
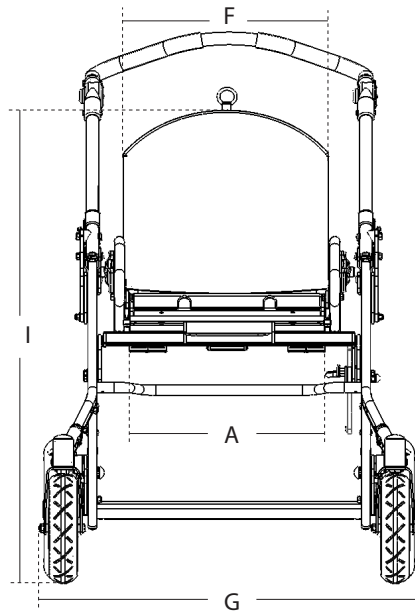
A) シリアルナンバー

シート下、左右連結フレームの中央にラベル貼付されております。

B) 製造者

左右連結フレーム（後輪部）の左側にラベル貼付されております。

Dato: 31-01-02 Belast: kg
SN: 0840-01-111878-001
Varenr: 880003
5707292 134158

Parallelvej 3
DK-8751 Gedved

JP ＜寸法表＞

	サイズ１	サイズ２
座面幅（最大）（A）	28 cm	33 cm
座面奥行き（B）	18-28 cm	25-34 cm
背もたれ高さ（C）	34 cm	40 cm
フットレスト高さ（D）	10-31 cm	10 - 31 cm
背もたれ幅（F）	28 cm	33 cm
全幅（G）	60 cm	65 cm
全長（H）	68 cm	68 cm
全高（I）	89 cm	89 cm
プッシュ･ブレス長さ（I1）	21 cm	21 cm
全長（折りたたみ時）	80 cm	80 cm
全高（折りたたみ時）	44 cm	44 cm
重量（フレーム）	11 kg	12 kg
重量（シート）	6,5 kg	7,5 kg
耐荷重（お子様体重）	35 kg	50 kg
Max. load / user weight at transportation	35 kg	43 kg
角度	フットレストバー	90º- 42º
	背もたれ	23º- 65º
	シート	-19º- 31º

耐荷重（お子様の体重　お車での移動の際等）に関する詳細は下記ホームページをご参照ください。：
www.R82.com/archive/Publications/Pdf/Chart_transport.pdf

JP ＜テクニカルデーター＞

フレーム：　鉄製（クロム/粉体塗装）

プラスティック部品：　　繊維ガラス（強化ポリプロピレン）

クッション：耐火性フォーム

生地：耐火性繊維

R82 A/S
Parallelvej 3
DK- 8751 Gedved

JP ＜販売店＞

Please find your distributor on www.r82.com

＜お手入れ＞

JP

クッションは取外可能で、３０度までのお湯で洗濯できます。　品質維持のためフレームは常に清潔に保ってください。

血液
冷水で落ちないときは、中性台所洗剤を加えてください。

インク
できる限り吸水性のある紙で取除いてください。　落ちないときは、２０％の変性アルコールできれいに落とし、中性台所洗剤を加えた水で洗ってください。

チョコレートやお菓子
ぬるま湯で落としてください。

草・野菜
ぬるま湯で落としてください。

コーヒー、お茶、牛乳
できる限り吸収性のある紙で取除いてください。　落ちないときは、中性台所洗剤を加えた水で落としてください。

ボールペン・化粧品
アルコールで落としてください。

マニュキュア液
マニュキュアリムーバーで落としてください。　落ちないときは、溶剤をご使用ください。

油・潤滑油
最初にタルカムパウダーをまいてください。　最後にベンジン又はアルコールを染込ませた布で慎重に落としてください。

靴墨
ベンジン又はアルコールを染込ませた布で慎重に落としてください。

ジャム、シロップ、果物、ジュース
できる限りスプーンで取除いてください。　その後ぬるま湯で落としてください。

ワイン、アルコール類
できる限り吸収性のある紙で取除いてください。　落ちないときは、中性台所洗剤を加えた水で落としてください。　最後に希釈アルコールですすいでください。

油性絵具
最初にテレビン油できれいにしてください。　その後中性台所洗剤を含んだ水で落としてください。　しつこい汚れの場合は専門家にご相談ください。

水性絵具
中性台所洗剤を含んだ冷水で落としてください。　しつこい汚れの場合は専門家にご相談ください。